

ドングリ通信

今できること
私たちにできること
そして 未来につながること
小さな一粒のドングリに千年の夢を



■発行 ドングリ千年の森をつくる会 〒673-0893 兵庫県明石市材木町4-18 テクノプロ(株)内
TEL.078-913-2385 FAX.078-913-2386 e-mail techno@pop11.odn.ne.jp

「ドングリ千年の森7号地」株主募集

植樹場所 平成19年度ドングリ千年の森7号地
太田ダム西側（兵庫県神崎郡神河町南小田）
植樹予定 平成20年4月20日
申込方法 最終ページをご覧下さい。



新緑の候 株主の皆様に於かれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、平成18年度「6号地ドングリ植樹」を終えました事をここにご報告致します。今年の植樹会は昨年に引き続きお日様には恵まれず小雪まじりの寒い中での植樹となりました。

この活動は多くの株主さんの協力により、毎年1000本のドングリを目標に植え続けることが大切であると考えています。ドングリ会の趣旨でもある「今できること 私たちにできること そして未来につながること」の身近な環境づくり活動です。そしてこの活動を実践することじたいが、株主一人一人の心の財産となることを心から願っています。



今できること 私たちにできること そして未来につながること



第6回明石クリーンセンター植樹 平成19年3月11日

明石市長よりのメッセージ



本日、「どんぐり千年の森をつくる会」の植樹会が多数の皆様のご参加のもと、盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

平素より、皆様におかれましては、市政の各般にわたりご理解とご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

ご案内のとおり、今日、地球規模での環境問題が年々深刻さを増すなか、明石市においても、自然環境の保全やごみの減量化などが課題となっています。

そのようななか、「どんぐり千年の森をつくる会」の皆様におかれましては、「今できること、私たちができること、そして未来につながること、小さな一粒のどんぐりに千年の夢を」の趣旨のもと、自然風土を次代に残す取り組みを進めておられますことに深く敬意を表する次第でございます。また、このたびは第3次最終処分場の整備に合わせて、1千本を越える苗木植樹のご協力をいただき誠にありがとうございます。重ねてお礼申し上げます。

平成16年度より建設を進めてまいりましたこの第3次最終処分場は、多くの方々のご理解とご協力を得て無事完成の運びとなります。ここに改めて、周辺自治会をはじめご関係の皆様に深く感謝の意を表する次第でございます。今後、この最終処分場の延命化を図るため、市民の皆様とともにごみ減量やリサイクルの一層の推進に取り組んでまいりたいと考えております。

将来の世代にこの豊かな自然環境を引き継ぐことは私たちの責務であります。本市におきましては、引き続き、市民の皆様とともに持続的発展が可能な環境共生型社会の構築に取り組んでまいりたいと考えております。皆様におかれましては、変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、「どんぐり千年の森をつくる会」のさらなるご発展と、ご参加の皆様の今後ますますのご健勝でのご活躍を心よりお祈りいたしまして、私からのメッセージとさせていただきます。

平成19年3月11日

明石市長

北口 寛人



下草刈・追肥作業・寒肥作業・枝打ち作業

下草刈等は3～5号地の植樹箇所について実施致しました。

第1回 下草刈

◇日 時 平成18年5月3～5日
午前7時～11時
◇参加者 3名

追肥 作業

◇日 時 平成18年7月1日
午前7時～11時
◇参加者 3名

連休中にも関わらず事務局の皆様ご苦労様でした。

第2回 下草刈

◇日 時 平成18年7月2日
午前7時～11時
◇参加者 30名

第3回 下草刈

◇日 時 平成18年8月27日
午前7時～11時
◇参加者 30名



下草刈も天候に恵まれず小雨交じりの中生い茂った雑草とドングリの木を見極めるのが大変で～す。
生い茂った雑草の間をキリギリスやバッタ等の昆虫が一杯いるから、今年は昆虫好きのチビッコ集合～。



○
○
前回の下草刈から1ヶ月半しか経過していないのにどうして?
こんなに雑草が!
雑草の生命力はスゴイ!

8月の下草刈は雨という最悪の天候で地面
も池のような中、汗と雨でびしょ濡れ
になりながらも全員で頑張りました。

本丸社長も懸命に頑張っておられます。

寒肥 作業

◇日 時 平成19年1月27日
午前9時～12時
◇参加者 11名

枝打ち 作業

◇日 時 平成19年2月4日
午前9時～12時
◇参加者 10名

ドングリ拾い

ドングリ拾いは県立明石公園内において大勢の株主の皆様によって実施致しました。

◇日 時 平成18年11月12日 午前10時～13時

行楽の秋日和の中、89名の方々に参加して頂きありがとうございました。午前中に4班に分かれて実施しました。子供達の宝ドングリを懸命に探す姿は真剣そのものでした。出来れば勉強でもこの姿が…

ドングリ拾いの後はミスドのドーナツを食べてレクレーションタイムへ。今回は紙芝居と風船を使ってトンボや犬等を作りました。今回も兵庫ベンダ工業の皆様には色々とお世話になりました。



総勢89名が
4班に分かれて
ドングリ拾いです。
各班とも
頑張って！

Aチーム



Aチーム



Bチーム



Bチーム



お疲れさまでした

6号地植樹

植樹は明石クリーンセンター内第3次最終処分場にて株主の皆様によって実施致しました。

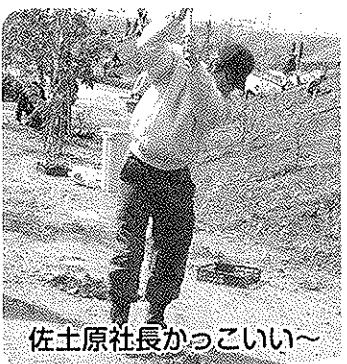
◇日 時 平成19年3月11日 午前10時～13時

前日より天候が悪く植樹会当日も突風・小雪が降りしきる中、赤土の急斜面に足を滑らないよう注意しながらの植樹で大変でありました。植えたドングリの木、一本一本に願いを込めてネーム札を付けました。植樹の後は待望の昼食タイムです。今回は焼きそば・豚汁・ご飯・そしておやつにカステラ焼きでした。

最後にクリーンセンターの職員の方々に工場見学をさせて頂きましてありがとうございました。



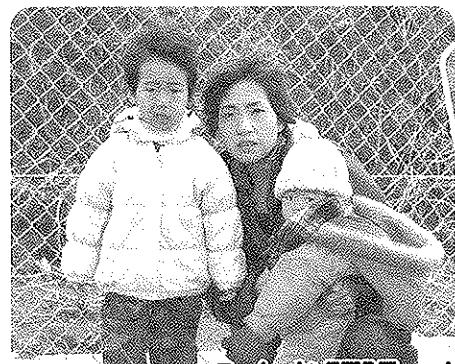
明石市環境部長の榎本さま



佐土原社長かっこいい～



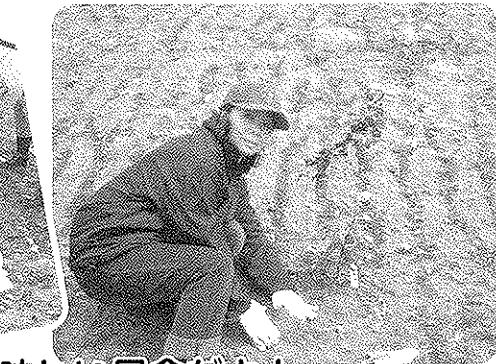
クリーンセンターの職員の方 ご苦労様



みんな頑張ったね～

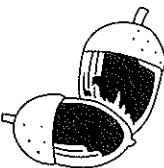


次は美味しい昼食だよ！



お
知
ら
せ

6号地植樹会が新聞記事に掲載されました。左が神戸新聞、右が毎日新聞の記事です。
神戸新聞に掲載の写真は第一高周波工業の宮内さんの奥様と娘さんです。
毎日新聞に掲載の写真は第一高周波工業の宮内さん加藤さん守谷さん一家です。



具一杯の豚汁寒かったから温もったよ~



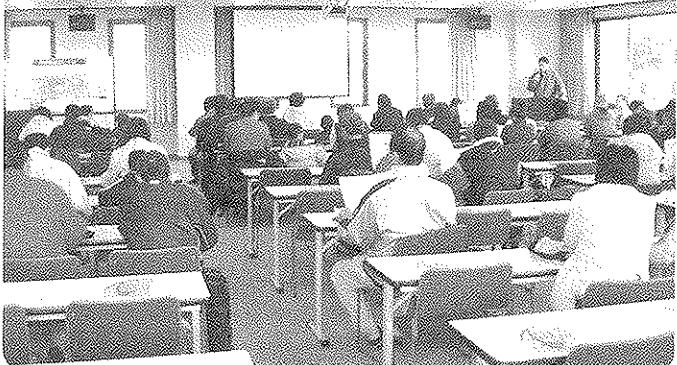
焼きそば美味しかったよ~



子供たちに大好評のカステラ焼き



兵庫ベンダ工業・テクノプロの皆様ありがとうございました。

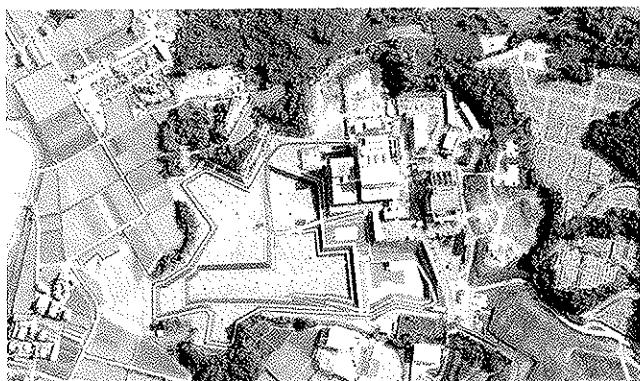


明石クリーンセンターの工場見学させて頂きましてありがとうございました。
ゴミの分別や処分される過程など教えて頂き勉強になりました。
子供たちにとっても貴重な体験になったと思います。

植樹会に参加して

明石クリーンセンター 大西三彦

緑に囲まれてきれいな空気を吸うのは、心が洗われ誰もがすがすがしく感じるものです。私も休日には、公園や緑地に出かけてリフレッシュするのが楽しみになっています。しかし一方では、社会活動を伴う生活そのものが自然を犠牲にしているという側面を抱えており、個人の心情として矛盾を感じることも少なくありませんでした。現在、明石市では一般廃棄物最終処分場を整備しております。廃棄物は市民生活や、社会活動の結果排出されるのですが、それを埋め立てる最終処分場は、環境に負荷を与える存在として捉えられています。しかし実際は、将来にわたる綿密な計画と厳重な管理体制のもと、環境に与える影響は最小限に抑えられています。とはいえ建設予定地にはウバメガシやアラカシなど、いわゆるドングリの木を中心とする森林が広がっており、それらの木々が造成により姿を消してゆくこと、また、貴重な自然としての野生動物や昆虫の棲家が減少していくことを心苦しく思っていました。もちろん処分場建設において造成工事終了後には、もともと自生していた木々と同種の樹木を植栽し森林を回復させる予定でした。



そんな折、ドングリ千年の森を作る会の皆さんの活動が、市民生活を支えながらも自然にやさしくという環境行政の趣旨のもと、森林の回復を図ろうとしていた私たちの考えに沿ったものであることを知りました。しかも、自生していた木々と同じ種類の樹木を植栽するというではありませんか。さらに環境負荷として捉えられる廃棄物最終処分場周辺に、身近な環境作り活動の場を提供できることに意義を感じ、ぜひ活動の場として利用していただきたいと考えました。上司も快諾し、市長は皆様への感謝の気持ちを2頁目のメッセージとして託されました。

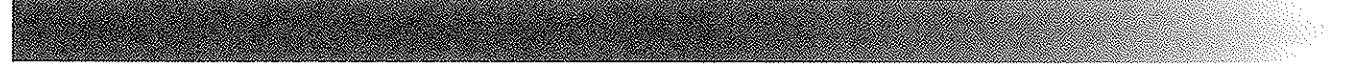
植栽当日は、前日に降った雨の影響で足元が悪かったにもかかわらず、200名ほどの方が1本1本にそれぞれの思いを込め、意気軒昂に植樹されている姿を見ました。私自身も参加し、用意していただいた数本の苗木を植えさせていただくことが出来ましたが、会の趣旨でもある「今出来ること、私たちに出来ること、そして未来につながること」の意味を実感でき、大変良い体験をさせていただきました。今後年を追うごとに、明石市最終処分場緩衝緑地帯に植樹された1080本のドングリの木々は「ドングリ千年の森6号地」として新たな自然を育んでくれるものと思います。最後になりましたが、ドングリ千年の森をつくる会の活動がさらに多くの人に理解され、広がっていくことをお祈りいたします。

明石クリーンセンター 林 隆造

第6回植樹会が、多くの会員の方々の参加のもと、盛大に執り行われましたことをお喜びいたします。先人から引き継いできた命を未来へ引き継ぐための環境づくり、その活動に深く敬意を表します。ドングリは落葉するナラの仲間と常緑樹のカシがありますが、自然界では落葉した葉が堆積し、良質の腐葉土となり、その上に実が落ちて発芽するわけですが、今回植樹された場所の土は、粘土質の単粒構造でPH（水素イオン濃度）5.6、EC（電気伝導度）0.1ms/cm以下という酸性土壤で肥料分を全く含まない土壤でした。苗が育つには、これを自然界の良質の團粒構造の土に変えてやる必要があります。牛糞（牛糞にチップを混合したものと思われる）は、PHが8.8、EC2.6、強アルカリ性でしたが、肥料分は多く含んでいました。（1）PHが仮に1違うと濃度は10倍、2違うと100倍違ってきますので有機質と土を良く混合して弱酸性の團粒構造を作る。（2）牛糞の上に直接苗を植えないようにする。（3）定植後は、根と培養土をなじませる為にたっぷり灌水する。このようなことが、今回のよだな土質のところでは大切になります。定植後に牛糞を上に置くより、土と良く混合するほうが理にかなった植栽です。たったこれだけで、みなさまの大切な苗木の発育が大きく違ってきます。今後の植栽場所での参考にしていただけましたら幸いです。最後に、今回植えられた苗木の成長を願うとともに、「ドングリ千年の森をつくる会」会員のみなさまの更なるご活躍をお祈りいたします。

宮本和夫

室内より大久保のクリーンセンターでボランティアでの植樹会があると聞いたのが、ちょうど2週間前頃だったと思いますが、何で植えるんやろと聞いたところ“ドングリの苗木らしい”でと言うようなやりとりがあつたぐらいで、私は会社を定年退職し今は何もしていない日々でしたが、参加当日は六甲にメンバーと山登りに行く予定で植樹会に参加しようとは思っていませんでした。以前より同じ種類の苗木が多くあり何とかしなければと思っていたところ家内がある日庭にある苗木を持ち込んで植える事は出来ないやろかと誘ってくれた友達に問い合わせたところ何でも良いとのことだったよと私に言うので2・3日前より大小の松、サルスベリ、樟、もみじ、もちの木等約10種30本程の苗木を根を痛めない様掘り起こし、当日に間に合う様準備、前日の天気は夕方より雨で当日も雨が残るとの予報でしたが、苗を集めてみると持つて行くのが惜しいような気分と同時に追跡しなければという思いにかられ、家族全員で行く事にし、セダンタイプのトランクと車内に苗木を分けて積込みその中に4人が嵌るような格好で乗り込み会場に着くと桜の開花予想が近くあろうかと言うのに寒く時折小雪が舞う中子供連れの家族も含め200名ぐらいの人々が集まりボランティアのパワーを目の当たりにしたところでした。明石市長のメッセージに続きクリーンセンターからの植樹の意義・大切さの話しがあり気持ちを新たにし係りの方より作業手順及び注意事項の説明を受け班毎に植樹地に行き、先ず家から持込んだ苗木から植える事にしましたが長い苗木は根から2M近くもあり植える時手間取ったものの一本毎に名前を書いた名札を取付け5年10年先を



思いながら会場を後にしました。2時間程の作業でほぼ全て終える事が出来、持ってきた道具を車に積み朝集合した場所に戻るとボランティアの方々による焚き出し、焼そば・豚汁等美味しく頂きコーヒーまでもサービスして貴い空腹を満たして疲れも気持ち良いものとなり、帰りに“カステラ焼き”的お土産まで頂いて、本日植えた苗木の成長を祈りながら家路につきました。皆様方の御厚意誠に有難うございました。

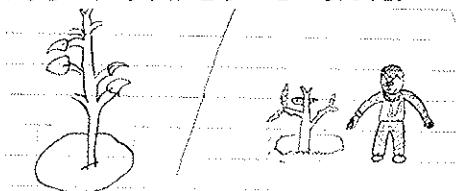
高濱仁子

初めて「ドングリ植樹会」に参加させて頂いた私は、少し遅れて「明石クリーンセンター」に到着し、参加者の多さと、皆の服装に驚きました。長靴に登山靴、カッパに手には鍼やスコップ…「何で？ドングリ植えるだけと違うん？何処行くんやろ？」って感じでした。仲間の手渡してくれた軍手を握りしめて小雪のちらつく中、植樹場所の斜面に辿り着いた時、ようやくその理由が解かり、早くもズック靴に軽装での参加を後悔しました。赤土の急斜面を登り、リーダーの掘ってくれた穴に肥料を蒔き土と混ぜて次々と苗を植えていく…慣れない体勢での作業と靴底に付いた土の重さに足元がフラついた時、隣で熱心に作業されていた女性がズルズルと滑り落ちていくのが見え、慌てて手を差伸べようとしたが、自分の体勢を維持するのに精一杯で申し訳なく思いつつ見送った。一時間程の作業で斜面が様々な苗で一杯になったが、何の知識もない私にはどれがクヌギなのか…カシワなのか解からず葉っぱのない枝木は「枯れている」様な気さえもしていた。

- ・自分の名札のついた苗木にいとおしそうに「大きくなれよ～」と声をかける人
- ・根元が真っ黒になる位肥料をかけている人
- ・これから先の暑い夏の日の草取りの大変さを語る人
- たくさんの暖かい思い出をいっぱい受けて植樹した多くのドングリがすくすくと育ってくれる事を願いつつ、仲間との作業の後の一杯を楽しみに、今後も「ドングリ千年の森をつくる会」の活動に一回でも多く参加させて頂きたいと思いました。最後に前日よりの下準備や早朝からの焼き出し等のお世話をして頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

黒岩孝行君(小4)

家族で明石クリーンセンターにドングリの木を植えに行かせてもらいました。途中で小さい雪が降って寒かつたけど木を植えているうちに暖かくなりました。植える所が急な坂だったので、何回も滑りそうになりました。みんなで土を固めて、肥料や水をやったのでドングリの木が大きくなるのが樂しみです。みんなが植えた木が大きくなり、ドングリを生み、それが大きくなって大きな大きな、ドングリの森ができ、そこに動物が住み、ドングリの木の家族もできればいいなあと思います。今日は参加させてもらい、ありがとうございました。



玉田真知子

私の属するBチームは一番奥のスペースだった。明石公園で拾ったドングリを家の庭に植えて育てておいたのが今回デビューすることになった。何でもやっておいたら後からちゃんと何処かで受け入れてくれることになってるんだと、我ながら感心もし感謝もする。昨日の雨の為に斜面がズルズルで植えたら後お尻でスキーハして降りるしかなかった。でも面白かった。もっと地球に縁を取り戻したい。明石は私の故郷。田んぼだけでなく落ち葉が困ると言わないので木を植えてほしい。鳥が沢山住むように。鳥羽の浄水場や谷八木川児童公園にもまだ植えるスペースがある。クリーンセンターのような所は多少お金がかかっても太陽光発電・風力発電の方法を取り入れたら良いと思う。来年くらい自分の植えた木を訪問してみたい。

水田千代子

ドングリ拾いの大好きな孫と参加しました。赤土が靴底いっぱいにつき、それを落としながらの植樹、手元の20枚の名札もあつという間になくなりました。孫持参のスコップでは穴も掘れませんでしたがお世話して下さる方が穴を掘って下さったお陰で土手の上まで植樹出来ました。植樹の後の温かい食物、他の参加者と美味しい美味しいねと頂きました。帰り際一年生の孫は今度は家族で行こうねと又拾った大きなドングリを見て、僕の植えたドングリもこんなに大きな実を付けるかなと話しながら帰途につきました。お世話して下さった皆さん有難うございました。孫が大人になった時、ドングリの林を見て今日の事を思い出して家族に話している様子を密かに願っているバアバアです。

久保聰美

今回の植樹会は3年ぶりに参加させて頂きました。久しぶりだったので新しい取り組みで苗を家庭で育ててこられている方々を見て頭が下りました。植えるしかお手伝いできませんが出来る限り今後も参加していきたいと思います。子供や友人も普段出来ない土との触れ合いが出来楽しかったようです。今回はクリーンセンターの見学もでき勉強になりました。毎回焼き出しも色々と考えて下さりありがとうございます。どれも美味しいかったです。雪が舞う日だったので温かいものは体が温まりよかったです。世話人をして下さっている方々も有難うございました。

徳永あいちゃん



ドングリ出前体験学習実施・予定について

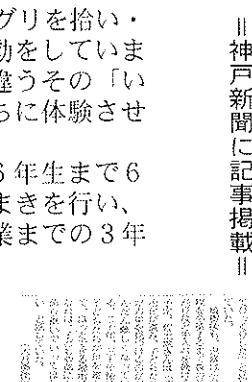
私たちの会は、地域の自然植生を再生するために、ドングリを拾い・種をまき・苗を育て、身の回りの公園や山等に植える活動をしています。活動には多くの子供たちも参加しており、普段とは違うその「いきいきとした」表情を見て、できるだけ多くの子どもたちに体験させたいと思うようになりました。

この活動は、小学1年生に入学した年から、卒業する6年生まで6年間に渡り一緒に学ぶものです。1年生で種を拾い、種まきを行い、育苗管理を3年間続け4年生で山に移植する、そして卒業までの3年間下草刈をしたり、森に住む他の動植物の勉強をしたりすることにより、自分達で作ったドングリの森に「心の故郷」を思い出すことでしょう。自分にとって大切にしたい故郷への思いは誰しも持っている筈です。

■ 学習経緯

○平成18年 小学3年生

- | | |
|---|-----|
| 10) ドングリの心
(藍野大学 医療保険学部作業療法学科 足利助教授) | 5月 |
| 11) 明石・兵庫・日本の森
(林野庁兵庫森林管理所 為本調査官) | 7月 |
| 12) 3年間育ててみて
(ドングリ千年の森をつくる会) | 12月 |
| 13) 宇宙から見た日本・地球 | 1月 |
| 14) 宇宙にも地球と同じ星は?
(明石天文科学館 井上先生) | 1月 |



○平成19年 小学4年生 【今後の予定】

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| 15) 山に移植
(ドングリ千年の森をつくる会) | 7月 |
| 16) ドングリの森管理方法
(ドングリ千年の森をつくる会) | 9月 |
| 17) 森の仲間たち
(ドングリ千年の森をつくる会) | 10月 |
| 18) 現在検討中です。 | |



ドングリ千年の森をつくる会の19年度の予定

- ・権現ダムの下草刈 平成19年5月6日と6月24日と8月26日の3回実施予定
- ・明石クリーンセンターの下草刈については状況を見ながら検討致します
- ・株主募集 平成19年8月1日~31日の予定
- ・明石公園でのドングリ拾い 平成19年10月7日実施予定

株主の申込方法

株主の申込は下記の4つの申込ができます。
ご氏名・住所・電話番号・申込株数をお知らせください。

① 郵送による方法

郵送先 〒673-0893 明石市材木町4-18
「ドングリ千年の森をつくる会」事務局
TEL 078-913-2385

③ 郵便局から振込み用紙で申込む方法

口座番号 00940-9-132541
加入者名 ドングリ千年の森をつくる会

② FAXによる方法

FAX 078-913-2386

④ メールによる方法

メールアドレス techno@pop11.odn.ne.jp



ドングリ株主制度の概要

☆あなたの苗木を植える時には、日時と場所を連絡いたしますのでぜひ御参加ください。御都合で欠席される場合は、他の参加者が代わって植えますのでご了承ください。

★あなたが植えた苗木はあなたのものですが、特別の場合を除いて、勝手に切ることはできません。それはこの制度の趣旨が切らない森をつくることだからです。

☆株券は、あなたの子供や孫など大事な人に引き継ぐことができます。その際は、株主の名義を変更しますので、事務局までご連絡ください。

★植える山は国や市町村などから借用しますが、個人の山に植えるときは「ドングリ協定」を結んで植栽し、後世に引き継いでいきます。

☆会ではあなたが生涯に植えるドングリの株数と植えた場所がすぐわかるように管理していきます。

★株主になると順番に株主名簿に登録され、株主名簿は場所ごとに整理し永久に保存し後世に伝えます。

☆毎年一人一株500円は、山に植える苗が一人で育つようになるまで5~6年間の下払いなどの育成管理費や植樹会などの連絡費に使います。

★ドングリ株主制度は、ひとり1本のドングリ株主をたくさん集めて、西日本の自然植生である常緑広葉樹の森を再生していく仕組みです。ドングリの森づくりは、「今できること 私たちにできること そして未来につながること」の発想から生まれた身近な環境づくり活動です。ふるさとの豊かな自然は、今生きている私たちの「未来を想う心」でつくられます。